



2020年12月25日

各 位

上場会社 東京産業株式会社
 代表者 代表取締役社長 里見 利夫
 (コード番号 8070)
 問合せ先責任者 取締役企画本部長 蒲原 稔
 (TEL 03-5203-7841)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年9月28日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純 利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 110,000	百万円 2,300	百万円 2,500	百万円 1,700	円 銭 63.15
今回修正予想(B)	110,000	1,900	2,100	2,200	81.31
増減額(B-A)	0	△400	△400	500	
増減率(%)	0.0	△17.4	△16.0	29.4	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	98,604	2,696	2,972	2,178	80.96

2021年3月期通期個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 107,000	百万円 2,200	百万円 2,400	百万円 1,600	円 銭 59.43
今回修正予想(B)	107,000	1,800	2,000	2,100	77.61
増減額(B-A)	0	△400	△400	500	
増減率(%)	0.0	△18.2	△16.7	31.3	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	95,266	2,548	2,808	2,084	77.45

修正の理由

当期業績につきましては、包装資材ビジネスにおいて、環境配慮型包装袋やごみ袋など従来型レジ袋に代わる代替資材の取扱強化を図ったものの、有料化やコロナウイルス感染症拡大にともなう外出自粛によるレジ袋の大幅な需要減の影響が想定以上となり、また営業費の増加もあり、前回発表予想に対しては、営業利益・経常利益ともに減益見込みとなりました。一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、12月に行った固定資産の譲渡にともなう特別利益計上により、前回業績予想を上回り、過去最高益での着地を見込んでおります。

(注) 本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年9月28日発表)	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 24.00
今回修正予想	—		—	14.00	26.00
当期実績	—	12.00	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	10.00	—	14.00	24.00

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題と認識しており、安定配当の維持を基本としつつ足元の業績と今後の事業展開を充分勘案したうえで配当政策を進めております。

2021年3月期の期末配当につきましては、上記の通り過去最高益を見込むことから、1株当たり12円の配当予想を、14円に修正いたします。これにより、年間では前回予想の1株当たり24円から26円への2円増配を予定しております。

以 上